



一中だより



令和7年3月25日 第12号

稲城市立稲城第一中学校

TEL 042-377-9011

<https://www.fureai-cloud.jp/ine1j>

受け継がれるバトン

校長 猪瀬 政幸

3月19日に卒業式が行われ、125名の3年生が本校を巣立っていきました。「ONE TEAM」という合言葉で、互いに支え合い感謝し合う関係を築き、様々な場面で後輩たちが憧れるような姿を随所で見せてくれた3年生ですが、この日も代表の言葉や歌、そして態度で、式に参加した2年生に卒業への思いを伝えてくれました。特に2,3年生合同で歌う合唱「夜明け」は、3年生の思いに2年生がしっかり応える様に歌声が重なり、会場全体が震えるような感動的な合唱になりました。まさに、先輩から後輩へ、バトンが受け継がれた瞬間でした。



2年生は、一中の柱となる土台ができてきています。1年生も、入学当初から大きく成長した様子が見えます。4月に入学する新入生とともに、新たな一中の伝統を築いていってくれることを大いに期待しています。

保護者の皆様におかれましては、一年間、本校の教育活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

笑顔と学びの体験活動プロジェクト (2/28)

「お笑いどんぶり出前寄席」として、日本のお笑いの伝統文化を体験しました。

江戸落語に関する詳しいお話や、代表生徒による実演を行った後、落語と紙切りを鑑賞しました。

プロの噺家さんの話芸に引き込まれ、思わず笑ってしまったり、紙切りの技術の高さに感動して大きな歓声が上がりました。



7組野沢温泉村宿泊体験学習(3/5～7)

7組は2泊3日で野沢温泉村を訪れ、スキー実習や雪遊び、屋根の雪下ろし体験などをして、楽しく充実した3日間を過ごしました。

特にスキー実習は、みんな集中して取り組み、一日で大変上達しました。



「交流の日」コミュニケーションに関する講演会(3/8)

日本一学校を回るお笑いコンビ「オシエルズ」の二人を招き、「自分らしいキャリア選択とコミュニケーション」というテーマで講演会を行いました。人を傷つける笑いと人を楽しませる笑いの違いや、互いに気持ちの良いコミュニケーションの取り方など、お笑いネタやワークショップを交えながら、楽しく学びました。



3年生 卒業に向けてのプログラム

「稲城市 ESD プログラム」として、持続可能な社会の担い手を育成することを目的とした学習(救急救命講習、認知症サポーター養成講座、消費者教育)を行いました。

また、横浜に校外学習に行き、班で協力しながら謎を解き進むトレジャーロワイヤル(宝探し)プログラムを行いました。



救急救命講習



横浜校外学習

表彰

○稲城市教育委員会児童・生徒表彰

1年 村田 哲 さん 2年 立川 千晶 さん 2年 吉田 光希 さん

○体育優良生徒

3年 齋藤 柚葉 さん 3年 林 航大 さん

○体育努力生徒

3年7組 本間 恵一 さん

今年度末で退職・異動する教職員

堤 浩子	副校長	(退職)
菅原 亮	主幹教諭	(稲城市立稲城第三中学校へ)
山形 明弘	主任教諭	(府中市立府中第九中学校へ)
佐伯 理恵	主任教諭	(調布市立第三中学校へ)
木下 真良	教諭	(狛江市立狛江第二中学校へ)



お世話になりました

お知らせ【スタディサプリの導入について】

先日の保護者会でお伝えした通り、12月から試行しておりました学習支援アプリ「スタディサプリ」を来年度より正式に導入することにいたしました。

試行期間中、本校生徒の利用率は全国平均と比べてかなり高く、特に、間違った問題のやり直し課題の平均提出率が98%という結果でした。生徒のアンケートでも、75%が「学習効果がある」「来年度も利用したい」と回答しています。保護者アンケートも取らせていただきましたが、回答数が少なかったものの、回答いただいた数としては、「来年度も利用させたい」と答えた方が、そうでない方の2倍以上でした。

導入にあたり、ご家庭に新たな負担をおかけしてしまうこととなりますが、どうぞご理解、ご協力をお願いいたします。